



# 議会だより



立派なサケをみごとにゲット（第50回あきあじまつり）

## 主な内容

**意見書を提出しました**（道路の整備に関する意見書など6件）…… 3～ 4

**町政のここが聞きたい**

一般質問（中村・戸田博・瀧川・佐藤・丹羽の5議員）…… 6～13

**議会のうごき**（常任委員会の活動・四島交流など）…… 14



● **協働のまちづくりへ「医良同友」**…… 16

い い どう ゆ う

# 9月 定例議会

9月14日～17日開催

9月定例議会は、9月14日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

各会計補正予算が審議され、全員の賛成で可決されました。

◆別海町固定資産評価  
審査委員会委員  
任期満了に伴い、佐藤正男さん（西春別駅前）の再任と、木嶋扶佐美さん・佐藤豊さんの退任に伴い、木村健吾さん（別海）・島田安

委員の選任に  
同意しました



佐藤 正男さん

信さん（尾岱沼）の選任に同意しました。任期は、平成二十二年十月一日から平成二十五年九月三十日までの三年間です。



島田 安信さん



木村 健吾さん

◆別海町教育委員会委員  
岡田正子さんの退任に伴い、田中博行さん（泉川）の選任に同意しました。任期は、平成二十二年十月十二日から平成二十六年十月十一日までの四年間です。



田中 博行さん

## 平成22年度 補正予算

補正額	予算総額
<b>一般会計（2回目の補正）</b>	
3億8,570万円 増	154億6,170万円
<b>老人保健特別会計（1回目の補正）</b>	
36万円 増	236万円
<b>介護サービス事業特別会計（2回目の補正）</b>	
1,396万円 増	9億1,096万円
<b>介護保険特別会計（1回目の補正）</b>	
1,590万円 増	10億 740万円
<b>病院事業特別会計＜資本的支出＞（1回目の補正）</b>	
3,148万円 増	13億2,471万円

### 一般会計の主な補正（歳出）

- 基金積立金（減債基金等） 1億7,100万円増額
- 住宅用太陽光発電システム補助金 350万円増額
- 調整交付金事業（町有バス・スクールバス・除雪機械購入等） 7,260万円増額
- 中春別へき地保育園改築調査・設計委託料 600万円増額
- 新型インフルエンザ検診委託等 430万円増額
- 緊急雇用創出事業（小中学校のデータ整備等） 553万円増額
- 森林整備地域活動支援交付金 456万円増額
- 造林等整備工事 500万円増額
- 矢白別演習場土砂流出対策事業 1億3,226万円増額

### 老人保健特別会計の主な補正（歳出）

- 21年度実績による国・道などへの精算 36万円増額

### 介護サービス事業特別会計の主な補正（歳出）

- デイサービスセンター送迎バス購入費 1,396万円増額

### 介護保険特別会計の主な補正（歳出）

- 21年度実績による国・道などへの精算 1,590万円増額

### 病院事業会計の主な補正（支出）

- 医療機械器具購入事業 3,148万円増額

委員の推薦を承認しました

◆人権擁護委員

鈴木實さんの退任に伴い、菅原日出男さん（別海）の推薦と、任期満了に伴い、保田千恵子さん（別海）の再任を承認しました。任期は、平成二十三年一月一日から平成二十五年十二月三十一日まで三年間です。



保田千恵子さん



菅原日出男さん

工事請負契約の締結を承認しました

◆中央児童館建設建築  
主体工事

簡易公募型指名競争入札により、みどり・三共経常建設共同企業が落札しました。契約金額は八千六百九十四万円で、工期は平成二十三年二月二十五日までです。

国・道に意見書を提出しました

◆道路の整備に関する  
意見書

提出者 総務建設常任委員会  
池田 幸雄 委員長

町民生活に欠かすことのできない道路整備に必要な予算を確保するとともに、地方の自主性・裁量性を重視した制度とすることを求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。



現中央児童館（右）の左隣りに新児童館が建ちます



生活に密着した道路の整備は必要

◆一般国道の維持管理の充実を求める意見書

提出者 丹羽 勝夫 議員  
他三人

道路は重要な社会資本であり、特に、圏域間を結び一般国道は、地域経済の活性化のほか町民の命に関わる救急搬送など、重要な役割を担っていることから、国道の維持管理の充実を強く求める意見

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 戸田 博義 議員  
他三人

地域の雇用や社会保障を守る上で、地方自治体の役割が重要になっていることから、来年度予算の地方交付税措置などの一層の充実・確保を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。



◆口蹄疫など家畜の感染症に対する備えを万全にするよう求める意見書

提出者 産業常任委員会

戸田 憲悦 委員長

今年十年ぶりに国内で発生した口蹄疫は、酪農・畜産経営に大打撃を与え、経済・交流活動や社会活動にも多大な影響を与えました。近年の国際化で、人・動物・畜産物の流通により国境を越え病原体が侵入する可能性が高くなっていることから、家畜の感染症の侵入と蔓延防止・検査体制の充実を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する意見書

提出者 横堀 昭康 議員

他六人

地球温暖化の防止、国土の保全・水源のか

ん養に加え、地球環境に優しい低炭素社会づくりの推進など、森林に対する期待が増大する中、森林・林業の担い手である山村が崩壊の危機に立っています。森林資源を適切に利用し、森林・林業・木材産業の活性化を求める意見書が提出され、全員の賛成で可決されました。

◆北海道の自衛隊体制維持を求める意見書

提出者 佐藤 初雄 議員

他三人

北海道における自衛隊は、災害発生時の救援・救難活動や救急患者の搬送など地域の安全と安心に大きな役割を果たしていることから、防衛大綱の見直し等に際し、地域の意向に配慮し体制を維持するよう求める意見書が提出され、賛成多数（反対二名）で可決されました。

## 「自衛隊維持を求める意見書」に 対して論議しました

### 反対意見

(中村忠士議員)

イラク・アフガン戦争などを経験し、世界の人々は「武力で紛争は解決しない」ことを知りました。いま世界は軍縮に向かっていきます。

また、日本の経済・財政は危機的状況であり、軍事費についても「聖域」とすることはなく、削減すべきです。

### 賛成意見

(安田輝男議員)

駐屯地は四十年前からあり、まちづくりと人づくり、そして、地域の安全と安心に大きく貢献しています。

別海町は、自衛隊と共存共栄しながら長年にわたりまちづくりを行なってきたので、体制維持に強く賛成します。



西春別駅前にある別海駐屯地内のようす

## 平成二十一年度 各会計決算審査特別委員会の審議始まる

平成二十一年度一般会計・国保会計など九会計の決算内容を審査するため、各会計決算審査特別委員会が設置されました。

月の定例議会で全議員に報告された後、認定について採決します。決算委員会の構成は下記の通りです。

委員長	佐藤 初雄
副委員長	瀧川 榮子
委員	横堀 昭康
委員	安田 輝男
委員	池田 幸雄
委員	安部 政博
委員	福原 春夫
委員	沓澤 昌廣

# 町長の 行政報告

9月定例町議会の第一日目（14日）に町長が行なった行政報告を要約して掲載します。

## 産業の動向

### 酪農

#### 猛暑の影響大

生乳生産量、生産額ともに前年対比九八％と伸びていません。要因として、昨年の天候不順による基礎飼料の品質低下、暑さによる牛のダメージも大きく繁殖も低下傾向です。

当町の暑さによる被害は、六月一日から九月五日までに、乳用・肉用牛で五十二頭、死廃は十八頭です。

### 水産業

#### 回復またれる秋さけ漁

秋さけ定置網漁は九月一日から始まっていますが、九月十日現在では昨年比六二％、金額で八〇％程度と、低調な滑り出しです。

昨年を上回ることから、遊予想もあることから、今後の漁模様に期待しています。



国後をのぞむ野付外洋クルージングではイルカが見られる

### 観光・商工業

#### 野付半島

#### クルージングに期待

なお、ホタテ春漁は六月末で終了し、数量で七三％の一万八千五百九十二トでしたが、漁価高で金額は一〇三％の三十四億六千万円です。

エビ春漁は前年比数量で八七％の二十六ト、金額で七〇・七％の六億五千五百万円となっています。

野付半島は減少していますが、外洋クルージングも開設したことから、秋季観光に期待をしています。

商工業は厳しい経営下にありますが、商工会を中心に中小企業家同友会などの経営者グループが新しい取り組みを行っており、商工業活性化へ期待をしています。

## 病院

### 小児科・外科医が退職

四月から町立別海病院に勤務していただいていた小児科の野崎院長、外科の河合医師が九月いっぱい退職することになりました。

今後、小児科は地域医療振興協会と札幌医大から、外科も九月以降、地域医療振興協会から継続して支援をいただけることになっています。

小児科、外科常勤医



建設工事が進む新町立別海病院

の確保については、今後も全力をあげて取り組んでいきます。

## 口蹄疫

### 防疫体制の維持・継続を確認

本年四月二十日に宮崎県で確認された口蹄疫は、八月二十七日に終息宣言が出されました。

この間、二十九万頭の牛・豚が殺処分され、酪農畜産のみならず、

経済損出額は約二千三百五十億円と大打撃を与えました。

今回の口蹄疫は、感染源や経路が特定されていないこともあり、「北海道口蹄疫侵入防止対策本部」から、防疫体制の継続が打ち出されたことから、当町も侵入防止対策を継続します。

# 町政の ここが聞きたい

9月定例議会では第2日目(9月15日)に5議員が一般質問をしました。その内容を要約して掲載します。

## ■中村忠士 議員

- 1 戦争遺跡・証言などの保存に努力を……………6
- 2 8月6日・9日とお盆は射撃演習をやめるべき…7
- 3 教育委員会の連絡・伝達体制に問題はないか…7

## ■戸田博義 議員

- 1 町の防災対策の反省点は……………8

## ■瀧川榮子 議員

- 1 ソーシャルワーカーの導入を……………9
- 2 自治基本条例策定には十分な協議時間を……………9

## ■佐藤初雄 議員

- 1 別海町自治基本条例の基本理念は……………10
- 2 ドクターヘリによる救急医療体制の現状は……………10
- 3 中山間事業の内容は……………11
- 4 臭気削減の取り組みが必要……………11

## ■丹羽勝夫 議員

- 1 入湯税を下げた理由は……………12
- 2 町の機構図全戸配布が遅れているのは……………12
- 3 郊楽苑の設備改修工事費と内容は……………13

## 中村議員 戦争遺跡・証言などの 保存に努力を

教育長 記録を集成し

「別海叢書」を発行します

中村忠士議員

平成十七年六月議会

の「戦争の記録、証言、遺跡の収拾・発掘・保存を進めるべき」という質問に対し、山口教育長は「関係資料の収集・保存等を行っている

きます」と答弁しています。経過・方針は。

山口教育長

戦後六十五年を過ぎ戦争体験者の証言などを今残さなければ消えてしまいます。西春別平成寿大学の



旧陸軍計根別飛行場跡に残るえんたい壕(本別地区)

中で、開拓の歴史や戦争の足跡を語る発表会を平成十八年度から二十年度と続けてきました。今後、ほかの寿大学の中でも実施するよう考えています。将来的には記録を集成し、別海叢書の発行を予定しています。

質問

現在保管している録音や写真などのデジタル化に力を入れてほしいと思います。また、計根別飛行場の跡や忠魂碑・奉安殿などの戦争遺跡の保存を具体的に進めることはできないのでしょうか。

山口教育長

一部、VTRやCD化を進めています。戦争遺跡について、中には個人の所有地にあるものもあり、その保存については難しい部分があります。



## 中村議員 八月六日・九日とお盆は射撃演習をやめるべき

町長 お盆の時期だけでも自粛を要請していきます

中村忠士議員

八月六日は広島原爆被爆、九日は長崎、十日は終戦の日です。この時期は原爆や戦争犠牲者への慰霊と反戦を誓う時期です。しかし、矢日別演習

場では、六日、九日、十五日と火砲の射撃演習が行われました。

この日だけは静かに供養のときを送りたいというのが町民の願いではないでしょうか。八月六日・九日と十五日を含めたお盆は射撃をやめるべきです。

水沼町長

お盆の訓練については、毎年、駐屯地、北部方面本部などに自粛

質問

北部方面隊の総合戦闘力演習として、町道のすぐ脇で、交通障害にもなるようなやり方で塹壕構築訓練が行われています。

水沼町長

現地確認を行いました。演習場内での訓練であり、町民に直接被害などがおよび状況ではなく、特に問題はないと判断しています。



矢日別演習場内町道脇で行われた訓練

## 中村議員 教育委員会の連絡・伝達体制に問題はないか

教育長 正すべきところは正します

中村議員

中村忠士議員

西部地区の教職員健康診断は、例年十時半ごろに終わっていたのに、今年は昼過ぎまでかかるという状況が起こっています。

受付で職員の説明がなく、受診される方に戸惑いが生じたということも聞いています。

また、受診票（カルテ）が、教育委員会の

付しました。

質問

これは一例ですが、最近、教育委員会の事務的な不手際が目立つという声が、現場から聞こえてきます。個人的問題ではなく、職員構成や連絡・伝達体制などに問題があるのではないのでしょうか。

山口教育長

教職員健康診断については、十一時ごろ終了したとの報告を受けています。例年より受診者が多く、十五分から三十分程度時間が延びたものと思います。カルテの件ですが、

受診票を各学校に配布する際、各学校の公務補の会議を開催し、会議終了後に持ち帰ってもらうため、学校ごとに封筒詰めして棚入れしたものです。会議に出席できなかった学校へは、別便で送

人数の関係で多少時間が延びたという程度を超えるものでした。また、カルテが来ないので教育委員会に問い合わせたら「棚にある」という返事だったというのが現場の声です。また、就学指導委員の委嘱について、何も言っていないので問い合わせたところ、「四月に任命されている」という返事で、本人の知らないところで任命されるということが起こっています。

山口教育長

就学指導委員については今ぐらいの時期になって、今年もお願いしますという感じでやるのが毎年の例です。ご異議があるかと思えますので、正すべきところは正していきます。

## 町の防災対策の反省点は

戸田議員

総務部長 今後、対応策など  
検討していきます

実際に避難した方が約三〜四割と低かったことです。

質問

船舶避難の解決のため専門家の研修会や、避難ルートの作成などについて町はどのようなことを考えていますか。

小守総務部長

船舶の避難については今後、両漁協と協議しながら対応策など検討していきます。

質問

町で避難率を調査した結果は。

小守総務部長

避難対象者は平成二十二年一月三十一日現在、三百四十七世帯、一千三百十人です。

最大時は午後四時で四百四人、避難率は三〇・八％です。

質問

各町内会防災組織が

どのような動きをしましたか。

小守総務部長

各地域の自主防災組織の会長は、地域防災センターの開設、使用準備をし、午後十一時には避難場所開設などの体制が確立しました。

質問

町は「避難指示」「勧告」をどのように認識していますか。

小守総務部長

「避難勧告」は居住者



各地域で防災訓練が行われています（西春別駅前地区）

質問

災害の教訓を生かすための学校防災教育は。

根本教育部長

各学校では年度当初に学校経営案を作成し、その中に防災計画として火事・地震の場合の避難の指導や訓練などが明記され、訓練などを行っています。

質問

町の防災計画にある職員に対する教育は。

小守総務部長

各課ごとに防災計画を配布し、全職員に対し災害時の職員初動マニュアルを作成し災害対応体制をとっています。

質問

港・海岸に監視カメラの設置は。

水沼町長

今後関係機関と協議を進めていきます。

質問

床丹地区は、低気圧などの越波によって大きな被害が出ました。

国道二四四号線の山

側には、広大な土地があり、多くの方が上に移住を希望しています。が、道路と水がなく道路建設を望んでいます。

水沼町長

通常、民間の宅地造成の道路は土地所有者が整備します。道路用地もないので計画はありません。

高台に移転を望まれるのであれば、個人で整備した道路との平等性を考慮し検討します。

質問

尾岱沼地区の山側に抜ける道路が必要です。早急に整備する必要がありますが、あると思いますが。

田中建設水道部長

平成三年に護国寺の西側から国道九中橋南側までの二kmの道路整備計画を作成しており、国道から東公民館西側までは整備を完了しています。

道々に接続する約一km区間は民地を取得しなければなりません。地権者や地域の皆様のご理解とご協力を得ながら整備を進めます。

今年二月二十七日南米チリで巨大地震が発生し、日本にも津波が到来しました。避難勧告での反省点は。

小守総務部長

①国道二四四号の交通開始箇所や時間の改善②支所職員のみでは対応に支障がある③一部漁船が自己判断で港内で待機をしていた④



瀧川議員

# ソーシャルワーカーの導入を

病院事務長

## 必要と判断したら 配置を検討していきます

瀧川榮子議員

病院で医療や福祉・介護などの相談は、現在どの部署で受けていますか。

療を推進し、気軽に相談できる病院にするのが一番と考えています。

この目的を果たすための仕事、業務は必然的に増えると考えます。

真籠病院事務長

医師・看護師が相談内容により、他部局と連携をとりながら対応しています。

質問

医師・看護師不足という状況で、相談業務

質問

医療現場での危機管理などで各分野での仕事が増えると考えますが。

真籠病院事務長

一次医療機関として、予防医



町民のニーズに応えようと病院も努力しています

が今後与える影響は。

真籠病院事務長

今後、通常業務に影響が出る可能性が十分あります。

質問

ソーシャルワーカー導入の考えがありますか。

真籠病院事務長

社会的ニーズなど詳しく調査し、必要と結論づけられたら配置を検討していきます。

新しい病院では、ハード面だけではなくソフト面の充実も大切です。是非検討してください。

を参考にしながら、素案がまとめられました。議会や町民の皆さんに素案も含めお知らせしていきます。

質問

素案は練り直して変わります。その過程を知ることによって基本条例が住民にとって身近なものになります。公表の時期はいつですか。

小守総務部長

できるだけ早い時期を考えています。

質問

公募・団体推薦による検討委員会が開かれます。情報不足の中では委員会の公開がのぞまれます。

小守総務部長

役場内での協議や議会の協議などがされていないので、傍聴は考えていません。地域説明会を三会場

質問

自治体の憲法をつつていこうとする時、今年度中の制定を目標とせず、説明会を広く聞き、町民の意見を聞く時間をもっと設けるなど、余裕が必要と考えます。

小守総務部長

町の第六次総合計画では、自治の仕組みを町民の皆さんが主役となつて実現することとしています。

水沼町長

そのために、早期に自治基本条例を制定し、総合計画の達成に寄与しようとするものです。町民の皆さんのご意見を聞き、自治基本条例について理解されるよう努力していきます。

## 町長 理解されるよう 努力していきます

瀧川議員

# 自治基本条例策定には 十分な協議時間を

瀧川榮子議員

別海町自治基本条例（仮称）の素案が、非常に短時間で作り上げられたと感じています。十分な協議時間がありましたか。

小守総務部長

職員研究プロジェクトチーム十六人で十三

質問

条文内容が住民に見えるようになりませんか。

小守総務部長

先進自治体の条例等

## 別海町自治基本条例の 基本理念は

佐藤議員

佐藤初雄議員

### 町長 町民視点・町民参加です

づくりを一層強化し、町の最高規範に位置づけ、守り育てていくことが大切です。

町民とともに条例を育てていくための町長の見解をうかがいます。

水沼町長

六次計画は多数の町民の意見のもとで策定しました。

町民の視点での条例制定は欠かせません。

また、見直し条項を盛り込み、行政・議会・町民が一体となり、この条例をはぐくみ・発展させたいと考えています。

来年四月からの施行に向けて、本格的な作業に入った段階です。

質問

検討委員会の一般公募が三名でした。今後地域説明会が行われませんが、町民の意識改革も含め、形ばかりの条例にならないように十分検討し進めていただ

きたいと思います。

小守総務部長

検討委員会は、公募

の三名のほかに町内の団体から三十六名の推薦をいただいています。この中で検討が進めら

れていくと考えています。

今後、地域説明会、パブリックコメントを

佐藤議員

## ドクターヘリによる 救急医療体制の現状は

福祉部長

ヘリの

### 要請回数は44回です

佐藤初雄議員

ドクターヘリによる

救急医療体制が構築され、人命救助体制の整備が一段と進んでいま



ドクターヘリは多くの人命を救っています

す。

開始から現在までの運行状況は。

田村福祉部長

昨年十月から今年八月までの要請回数は四十四回です。その内、釧路まで運んだのは三十五回で、霧などにより対応できないことが九回ありました。

要請については、救急隊員や医師の指示により別海消防署が行います。

質問

ドクターヘリの年間維持費、およびその負担金は。

田村福祉部長

根釧十三市町村で運行しています。釧路医師会に五千万円を、そ

実施しながら、来年三月までに策定したいと考えています。

の内当町は二百一万五千円負担しています。

質問

一回の運行に対する経費、および患者の負担は。

田村福祉部長

運行経費は一時間当たり六十四万円です。使用については患者負担はありませんが、搬送中の医療行為については負担があります。

質問

町内十三か所の離着陸場所の実態は。

田村福祉部長

十三か所のヘリポートのうち、アスファルトの場所が七か所、グラウンドが六か所です。冬期間は四か所です。

佐藤議員

## 中山間事業の内容は

産業振興部長

自給飼料の生産性向上対策に  
重点をおきました

佐藤初雄議員

中山間地等直接支払い交付金事業の概要、新規事業メニュー、金額は。

質問

事業配分が、町集落二五％、サブ集落七五％に変更になった理由は。

飯島産業振興部長

これからは自給飼料生産性維持向上が重要で、サブ集落の取り組みに配分しました。

飯島産業振興部長  
別海町の基本方針を策定し、集落協定を結び、本年度から五年間事業を実施していきます。

### 中山間事業の主な活動内容

*共同取り組み活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>集落の管理体制の整備</li> <li>農業生産活動 (農用地の管理・多面的機能を増進する活動)</li> <li>農業生産活動等体制整備 (農地保全マップ・生産性収益向上取り組み)</li> <li>事務経費</li> </ul>
*新規メニュー
<ul style="list-style-type: none"> <li>農地情報GISシステム導入 (200万円)</li> <li>家畜防疫助成事業 (町家畜自衛防疫組合助成・家畜防疫車導入・洗浄機導入5台・BVD対策・ワクチン代)</li> <li>有害駆除対策(カラスなど) (6,160万円)</li> </ul>
合計 9億4500万円

質問

事業メニューに対する町長の見解は。

水沼町長

共同取り組み活動交付金は、集落協定に配

分することで、使途が問われることなく、自由な発想のもとで知恵を集めることができます。

実りのある事業活動を期待します。

臭気対策協議会の構成および活動内容について聞きます。

飯島産業振興部長

最近ではいろいろな苦情も寄せられてきています。

中山間全町集落を含め、構成員を幅広く求め、協議会を早急に立ち上げたいと考えています。

質問

各市街地周辺農家への対策については。

産業振興部長  
(答弁を別表にまとめました。)

佐藤議員

## 臭気削減の取り組みが必要

町長 臭気対策協議会を  
早急に立ち上げます

佐藤初雄議員

家畜ふん尿の散布時に発生する臭気の解決が大きな課題です。

質問

地域住民とともに繁栄のできる取り組みが必要と考えますが、町長の見解は。

水沼町長

当町の酪農のイメージを高めるためにも臭気の低減を図り、快適

別表 臭気対策実証試験 (平成19年~21年)

	別海市街	西春別駅前	上春別	西春別	中西別	中春別	合計
半径	4km	2km	2km	2km	2km	2km	
対象戸数	32戸	25戸	24戸	16戸	14戸	10戸	116戸
参加戸数	8戸	4戸	3戸	2戸	1戸	3戸	21戸

### 臭気対策事業内容

- ・スラリーストアーに発酵促進剤投入
- ・スラリーストアーにエアレーション投入と微生物を併用した消臭
- ・散布直前に木酢液などの投入

実証試験の助成金額 (一戸あたり85万円を上限)

	平成19年	平成20年	平成21年	合計
実証戸数	22戸	33戸	32戸	87戸
金額	1,874万円	2,226万円	2,040万円	6,140万円

な農村社会の形成に努めることが重要であると認識しています。JA、関係機関、酪農家、地域住民を含め、臭気対策協議会を早急に設置し、臭気削減に更に努力していきます。



丹羽議員

## 入湯税を下げた理由は

副町長 納税者の

### 負担軽減のためです

丹羽勝夫議員

入湯税が百五十円から五十円になりました。利用者は百円安く利用できると思いましたが、別海市街で一軒しかない浴場では、五百円だつ

た入浴料が六百円となり、逆に百円の値上げとなりました。

民間ですから、入浴料をいくらにするかは勝手ですが、町は誰のために入湯税を下げたのでしょうか。入湯税

を下げた理由と、どうしてあのタイミングで引き下げたのか教えてください。

他町では、入湯税七十円で入浴料四百三十円と、良心的なところもあります。現状で問題ないとお考えでしょうか。

今後の公衆浴場をどうするかを含め、浴場利用者の納得のいく方策をお知らせください。

磯田副町長

事業者のための税率改正などは一切していません。納税者の負担軽減のために入湯税引き下げを行ないました。

水沼町長

税を下げただけ入浴料を安くしてくださいということは、事業者に対して言うことはしません。

入浴料が法外に高ければ、町として考えなければなりません。

あとは、利用者が判断することです。公衆浴場があった方

がいいですが、町が補助金を出して公衆浴場としての機能を発揮し

てもらったことは、今は考えていません。

## 町の機構図全戸配布が遅れているのは

丹羽議員

町長 検討していて遅くなりました  
11月に配布します

きると思います。

全戸配布が遅れている理由、配布時期をお知らせください。

配布をやめたことには甘さがあったのではないかと感じますが、町長の所見を聞きます。

水沼町長

財政改革の観点から、また、どの程度の範囲までの職員を記載するかなどを検討して遅くなりました。

配布をやめたことについて、町民の視点を大事にするということに欠けていたと反省しています。

配布時期は、現状にしっかりと合ったものを出したいということで、できれば十一月の町の広報紙とともに配布します。

小守総務部長

十一月一日付で人事異動、新規採用、また退職者などがあるので、整理し、十一月一日現在の名簿で配布します。

質問

今年度すでに配布された分、これから配布される分、また過去に配布した金額をお知らせください。

小守総務部長

今までコピー代として約三千四百円、今後全戸に配布する場合は、五千八百部作成し、約二十万円、今回は予備費で対応します。

平成二十年度の全戸配布費用は、二十一万七千円程度でした。



町内の入浴施設は町民のいこいの場です

丹羽議員

## 郊楽苑の設備改修 工事費と内容は

産業振興部長 不良配管の改修で  
工事費2,772万円です

丹羽勝夫議員

郊楽苑と町の賃貸契約内容が、少し間違えると、競合するホテル・旅館の経営などに与える影響が大きくなりま

す。温泉設備の改修工事が必要ということで、三千五百万円を計上しました。最初の説明の時期には、調査の段

階ということでした。当初は、調査に必要な予算要求だけでよいものを、一度に三千五百万円の予算計上をしたということには、何か数字的な根拠があったのでしょうか。改修の指摘はどこからありましたか。また、調査委託費とその内容、工事の進行状況、工期をお知らせください。

飯島産業振興部長

工事費や委託料の算定仕分けが間に合わないことや、国の交付金の関係もあり、急いでいることから、三千五百万円を一括計上しました。

改修工事の必要性については、保守管理の点検業者から指摘を受けました。

調査委託料は百七十三万円で契約を結び、九月九日に改修工事の入札執行が終わっています。

管の改修工事で二千七百七十二万円の契約内容となっています。現在工事着工に至っていませんが、十二月十日ぐらいまでの工期と見込んでいます。郊楽苑側との十分な調整も必要と考えています。

岡田商工観光課長

既存の配管は、ピット内配管が主です。全面改修には多額の費用がかかりますので、調査した不良の配管そのものを改修する契約となっています。



配管の修理工事が必要となった郊楽苑

## 町議会と町民の意見交換会を開催します

開催日	時間	会場
11月29日 (月)	午後2時 ～ 午後4時	東公民館
	午後7時 ～ 午後9時	西春別 ふれあい センター
12月1日 (水)	午後7時 ～ 午後9時	町役場 101・102 会議室

【こんなことで意見交換したいと思います】

- 議会活動活性化の取り組み
- 各常任委員会の活動
- 議員定数・議員報酬
- その他、議会や町政について

町議会が町民の付託に応え、主体的なまちづくりを実現するためには、議会と町民との連携が重要です。町民に対する説明責任を果たすため、地域に向き議会活動の状況などを町民の皆さんに報告するとともに、議会に対する意見や町政への提言などを直接お聞きする場として、三地区において議会報告と意見交換会を開催します。

# 常任委員会活動報告

別海町議会に設置されている常任委員会(総務建設・文教厚生・産業)は、本会議閉会中も活動しています。各委員会の所管事務調査などの活動について、9月3日に行われた委員長報告に基づいてお知らせします。

## 総務建設常任委員会

八月十九日に、①税の収納状況 ②自治基本条例の取組状況 ③駐屯地の現状 ④町道の舗装状況の四点について、調査しました。

平成二十一年度の町民税収納率は九八・三九%で、前年対比〇・三二%増です。

今後とも町民の納税義務意識が低下しないよう配慮が必要です。自治基本条例については、一般町民を含めた検討委員会で検討が進められています。

別海町にふさわしい町政運営の基本と自治の基本理念を定めた条例となるよう取り組んでほしいと思います。

## 文教厚生常任委員会

九月二日、特別養護老人ホームなどの視察調査を行いました。

新特老建設について基本設計の予算がつい

たところですが、今回の調査では、ユニット方式と多床室との比較をしました。

町としては、現在の八十六床から百床をめぐらし、その七割をユニット、三割を多床室にと考えていることや、ユニット方式にすると人件費など経費がかかることが分かりました。

このほか、図書館、郷土資料館などの現地調査を行い、床丹・走古丹の保育園を統合した本別海保育園についての説明を受けました。

## 産業常任委員会

八月十八日に、野付湾クルージング・浮き棧橋ならびに野付半島侵食被害の状況等について調査しました。

一時間半の外洋クルージング調査では、国後島の間中ラインまでむかい、そこでカマイルカの群の歓迎を受けました。

国後島泊湾などを双眼鏡で視察したところ、無数の建物や風力発電機も何基かはつきりと

見えました。侵食被害については五十坪ほど侵食されている箇所もあり、道の

ヘッドランド工法による対策事業が行われていますが、効果の検証が必要です。

## 近くて遠い四島へのおもい

北方領土へは議会からも何人かが先に訪問していたので、ある程度の情報は得ていますが、初めて四島の一角に足を踏み入れてみて新たな思いを感じました。

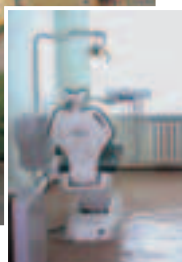
朝もやの穴澗湾から望む色丹、あの高台にホテルでもそびえ立つものなら最高の観光地ですが、しかし湾の周囲には朽ちた船が転々と置き去りにされていました。

穴澗の交流会では、中標津から参加した知床太鼓が勇壮なバチさばきを見せました。それにむらがる現地の子どもたちを見てふ

と思いました。無垢な子どもたちは戦争も色丹の歴史も知らないのです。「四島返還」とは何なのか。この子どもたちからこの色丹をどうしようとするこ



立派な学校の中には歯科診療器具も備えられていた



「かつての四島はイン



# 議会のうごき



全国から500人の議会広報関係者が集まりました

## 全国議会広報研修会

(8月25日・26日 東京)

毎年開かれている全国町村議長会主催の議会広報研修会が、シェーンバッハサボーで全国から五百人が集り二日間開催されました。

広報紙は読まれなければ意味がありません。そのため町村議長会では、広報紙作成の技術向上のため、研修会を開催しています。

初日は、分かりやすい文章表現・表記について、読まれる広報紙の作り方、文章の書き方のルールや、広報の原点である「いかに読んでもらうか、思いやりをもって、読み手に合わせて文章を書く」こと、また、伝えるための企画・編集・紙面構成などの研修を受けました。

二日目は、全国の広報紙を講師がチェックし、優れている点、検討・改善したい点の講評がされました。

当町の議会広報紙も好評価を得ましたが、情報公開や住民参加などの点でまだまだとの指摘を受けました。

今後も研修会で指摘された点を改善し、住民に関心をもってもらい、読まれる広報紙づくりに努力していきます。(山田委員)

「フラ整備がまったたく進んでいなく、日本の領土になつたら住みやすくなる」と話す住民が多かった」と、何度も四島を訪れている人はこう話してくれました。「しかし、今はロシア本土が力を入れていてから日本とは交流するだけで良い」と。そういえば穴潤には四年前に建てられた立派な学校があり、中には診療器具も備えられていました。

「ビザなし訪問は返還された時に初めて効果があったと言える。それまでは影の努力になる」という返還運動者の発言。ビザなし交流で、日本人が正しい北方領土を知ることが大変良いことだと思えます。しかし、それが陰の力ではない現状があるとしたら、日本政府の腹をすえての交渉しか、領土問題の解決はないと思うのです。(安部議員)

## 管内町村議会議員研修会

(9月25日 羅臼町)

管内町村議会議長会主催の議員研修会が、羅臼小学校・多目的ホールで行われました。

「地域経済の現状と将来展望」についてと題し、大地みらい信用金庫理事長遠藤修一氏の講演。時代のトレンドとマク

口情勢、地域経済の最近の現状についてなど、釧根の経済概況も交えて報告がありました。

また遠藤氏は、世界の動きと日本経済の動向について、内需狭く供給過剰であり生産性が勝負であること、貯

蓄を失うと危機が到来することや資源・食料問題など、今後の日本経済のキーポイントをあげました。

この後、羅臼国後展望塔を視察し、領土問題と交流事業についての説明を受けました。

この研修会を通して地域資源のとらえ方、活かし方など、時代へ

向き合うスタンスについて学びました。(松原議員)



ソフトな口調で釧根の現状を伝えてくれた大地みらい信金の遠藤理事長

# 協働の まちづくりへ



医良同友が主催した町民と病院スタッフとの交流・地曳網体験会の一コマ

## 病院スタッフと 地域住民が手を携えて

医良同友 会長 寺井 範男

私たち別海町医療サポート隊「医良同友（いりどうゆう）」は町立別海病院を柱とした地域医療体制の維持、向上に民間発の活動で取り組んでいる団体です。

今、日本の各地で地域医療の存続が危機に瀕（ひ）しています。わが別海町でも医師の確保に苦慮しているということは私たち住民にも広まっています。そのような中で「医良同友」は誕生しました。医良同友は別の地域から赴任してきた医師とその家族を地域住民が出迎え、交流の深まりを通して「居心地のいい町・別海」に医師に定着していただくことを目的にしています。二〇〇九年十一月の発会以来、一月のワカサギ釣り体験、六月の交流会、八月の地曳網体験など様々な企画を行ってきました。今後も医療フェアや交流会を予定しており、病院スタッフと地域住民が手を携えて地域の医療を支える体制が着々と整ってきています。医良同友の会員は趣旨に賛同した一般町民と法人が加盟し、現在の会員数は三〇〇名を数えます。今後も地域医療の重要性への理解を深めて会員を増やしていきたいと考えています。

## 編集後記



長期予報は一転して暑い夏に。それも猛暑。週間予報もほとんど当たらず、連日の晴れ予報に乾草用に刈った草はなんと全てラップ。

乳量も伸びず、牛もストレス大。繁殖など心配は来年に及ぶ。

そして海の異変。水温が高く、秋さけ漁が不振。海の仲間のためにも、海よ荒れてくれ！ 山は荒れるな！とも言えず…。つまり秋味のためなら我慢の秋だ。

狂った夏は許せず！  
(安部委員)

年々エゾシカが増加しています。数十頭単位の群れも珍しくありません。

また、今年はヒグマの目撃情報も例年の二倍以上寄せられています。調査によると、一か月に標準から本別海まで二百五十kmを移動し、同じクマが十回以上目撃されたことがあるため、実際の生息数はわからないそうです。

今後は、クマの生態を学び、人もクマも安心して暮らせる対策が必要でしょう。

(西原委員)

携帯電話は車を止めて！シートベルト着用・スピードダウン